

社団法人
日本材料学会
会長 吉沢田郎 殿

昭和58年1月28日
強度設計と
安全性評価部門委員会(仮称)
設立準備世話人
中村 宏(川崎重工技研)

拝啓

時下益々隆昌の段大慶に存じ上げます。

さる、近年、機械・構造物の経済性、安全性、信頼性に対する要求は非常に厳しくなり、材料の特性や強度についての最近の知識を効率的に活用し、いかに設計が行えなくなるよくなりつつあります。

一方、研究部門においては研究テーマが益々細分化、先鋭化し、有益な成果が得られているにもかかわらず、現場の設計者からは、どのように成果を活用すればよいかについて困ることが多いと言ったことをしばしば耳にする現状です。

幸いに日本材料学会においては材料特性、強度、信頼性、破壊力学、衝撃、応力解析など広範囲に渡るの会員も多く、それぞれの部門委員会も組織され、研究活動が行われ、又有限要素法に関する講習会も開かれています。

さらに会員の中には現場の設計事例に精通された方も多く、研究部門と設計部門のギャップを埋めるような委員会を組織することは設計部門に益するばかりでなく、研究分野の方向にとっても現場のNeedsや研究のSeedsの発見に益すること甚大と考えます。

つきましては、材料学会員の関係部門の方向に趣旨を御説明申し上げたところ、多くの方向から賛意と推進に対する御協力の確約を得たので、別添資料のような部門委員会の設立を企画いたしました。立案いたしました。

部門委員会設立の御承認を得たく、ここにお願いする次第です。

念のため、下記に設立に当り賛意と推進について御協力の確約を得た会員の皆様の御名前を掲げさせていただきます。

敬具

記

池田一夫 : 神戸製鋼機械研究所
井上達雄 : 京都大学工学部
今市憲作 : 大阪大学基礎工学部
大内田久 : 工学院大学工学部
大路清嗣 : 大阪大学工学部

大南正瑛 : 立命館大学理工学部
遠藤達雄 : 九州工業大学
川田雄一 : 明星大学理工学部
城野政弘 : 大阪大学工学部
杉浦正規 : プラス工業
菊川 真 : 福井工業大学
田中真一 : 鉄道技研
田中道七 : 立命館大学理工学部
高尾 武 : 日立造船技研
恒成利康 : 川崎重工技研
中川隆夫 : 神戸大学工学部
中沢 一 : 東京工業大学
平川賢爾 : 任反金属中研
藤井太一 : 大阪市大工学部
星 実泰 : 青山学院大学理工学部
轟口孝遠 : 神戸製鋼中研
安川 度 : 川崎重工技研
山田敏郎 : 新居兵高専
(50音順)